

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年07月03日

計画の名称	7 元気で安全・安心な兵庫の道づくり（ICアクセス道路等関連）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	兵庫県,小野市												
計画の目標	人流・物流の効率化や成長基盤の強化に資する「駅や工業団地、高速IC等へのアクセス道路」の整備を促進し、ストック効果を高め、活力のある地域を形成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,933	A	3,933	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	駅、工業団地、高速IC等の施設を利用し、周辺の幹線道路、施設等の主要地に至る交通の所要時間の短縮 駅、工業団地、高速IC等の施設を利用する交通における主要地間のアクセス時間短縮率 主要地間のアクセス時間短縮率 = [ 1 - { (評価時点の主要地間の所要時間) / (H30当初の主要地間の所要時間) } ] × 100	0%	25%	30%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
・兵庫県強靭化計画、定住自立圏に基づき実施される要素事業：下記備考欄に記載								

（注）今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)宗佐土山線 加古 川市八幡町	現道拡幅 L=1.3km	加古川市					520	-		
	兵庫県強靱化計画																		
	A01-002	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	新設	(一)豊岡インター線 豊岡市戸牧	バイパス L=0.6km	豊岡市					1,078	-		
	A01-003	道路	一般	兵庫県	直接	兵庫県	都道府 県道	改築	(主)但馬空港線 豊岡 市戸牧～岩井	バイパス L=2.2km	豊岡市					780	-		
	A01-004	道路	一般	小野市	直接	小野市	市町村 道	新設	新都市南北線	道路新設 L=1.7km	小野市					805	-		
	A01-005	道路	一般	小野市	直接	小野市	市町村 道	新設	新都市南北線2工区	道路新設 L=1.1km	小野市					750	-		
											小計					3,933			
											合計					3,933			

(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

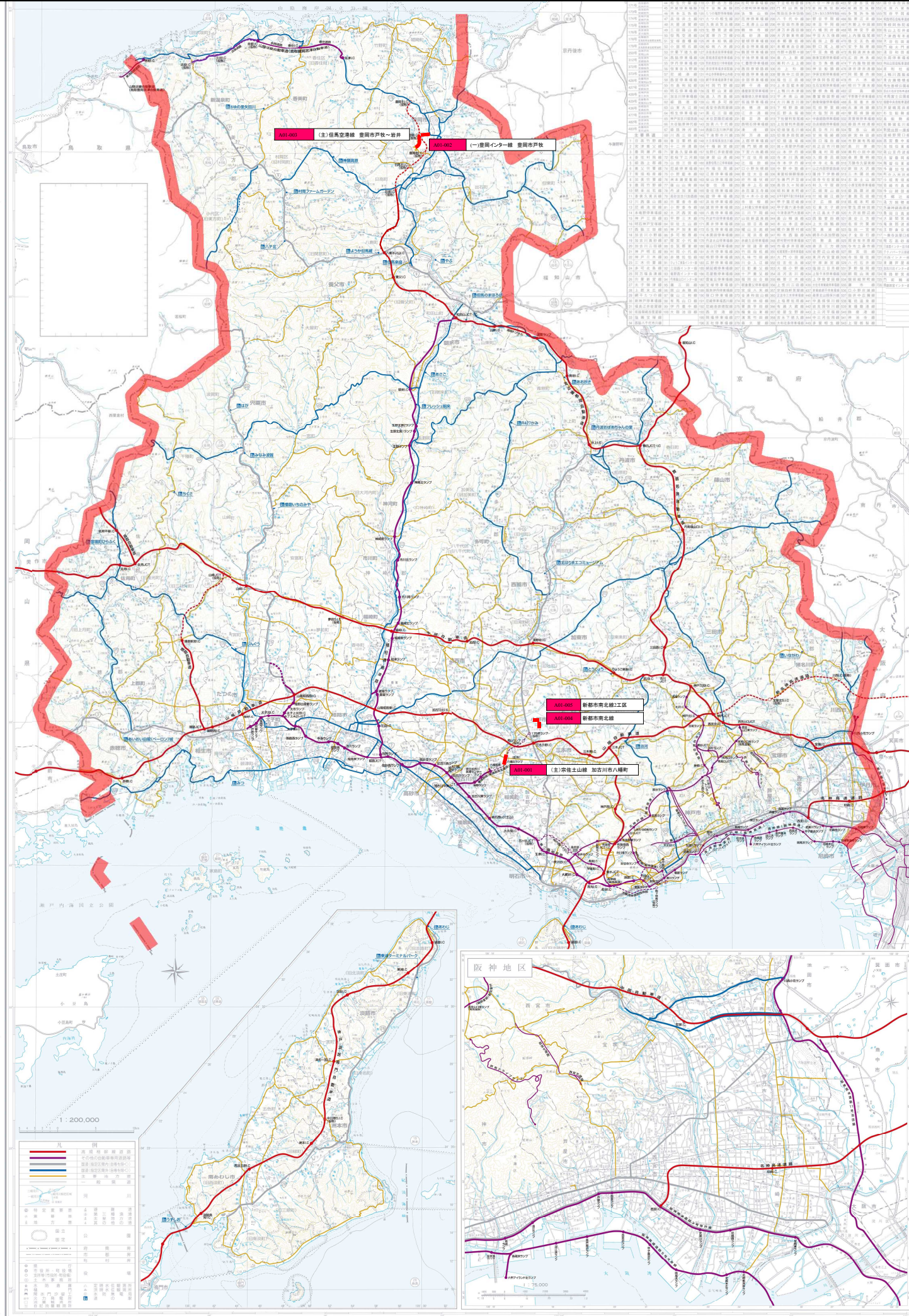
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	845				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	845				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	282				
翌年度繰越額 (f)	563				
うち未契約繰越額 (g)	73				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	8.63				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(注) 今後の社会情勢や交付される予算規模により、事業箇所や実施期間等を変更する可能性があります。

計画の名称	7 元気で安全・安心な兵庫の道づくり(ICアクセス道路等関連)		
計画の期間	平成30年度～平成34年度 (5年間)	交付対象	兵庫県、小野市



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 7 元気で安全・安心な兵庫の道づくり（ICアクセス道路等関連）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合し、上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○